

こども・若者意見交換会の結果報告

MRI エム・アール・アイリサーチアソシエイツ

2026/2/16

実施目的

目的、
テーマ

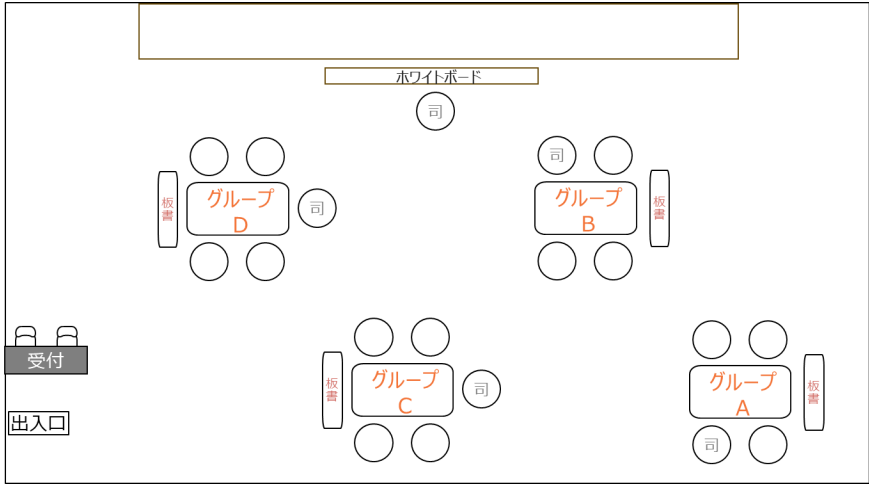
【目的】

こども基本法第3条では、こどもの意見表明の機会、こどもの社会的活動への参画機会の確保を基本理念として掲げている。そのため、沖縄のこどものウェルビーイングを把握するためには、こどもの意見の反映が必要であると考えます。

本調査では、おとなを介した意見だけではなく、主観的幸福度や意見聴取方法に関するこども・若者からの生の意見から、これまで協議体で確認してきた研究テーマの深掘りや、研究者・関係者への留意点の例示とすることを目的に、こどもの社会的活動への参画機会としてこども・若者意見交換会を実施した。

テーマ		詳細
1	(自分が) 将来、幸せな生活を送るために、今、どのようなことが必要だと思うか。	中長期的にウェルビーイングな状態（身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態）にするために、今、どのようなことが必要かについて、こどもから意見を聴取する。将来を踏まえた聴き方をしても、教育などの長期的な視点での意見が出ない場合はその視点が無い状態であると判断し、今後の研究テーマ等の検討のための情報とする。 【若者世代】現状の内容に加え、こども時代を振り返って意見をもらう。（あのときああすればよかった、こうしてほしかった、こうしたことがよかった等） また、将来、沖縄県に居続けたいかを会話の流れの中で確認。その理由も併せて把握。沖縄県として魅力となっていること、課題となりうることを明確化し、今後の研究テーマ等の検討のための情報とする。
2	こどもから意見（声）をもらうためにはどのような方法がよいのか。	研究体制の機能としてこどもからの意見を集めることが重要であるため、どのような方法・アプローチであればこどもたちからの意見を集めやすいかをこどもたちに確認し、検討できるようにする。

実施概要

実施日時	2026年1月17日（土） 14：00～16：00				実施方法・実施場所		那覇市職員厚生会					
対象者	9歳～25歳の14名。（機縁法にてリクルーティング）											
	※今までの協議体でのご意見やテーマ案（こどもの長期的な成長の観点）等を踏まえ、18歳以上（大学生、社会人）も対象に含める。											
			Aグループ		Bグループ		Cグループ		Dグループ			
	学齢	小学生		中学生		高校生		大学生		社会人		
	性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
	人数	1	2	1	2	2	2	1	1	1	1	
実施内容	個々の意見が拾えるようグループ内で議論をし、その内容を全体で発表する方法を取った。											
	また、議論がスムーズに実施できるように、各グループにファシリテーターと板書係を置いた。当日の流れは以下のとおり。											
	なお、意見交換にあたっては他の参加者の意見に影響を受けないよう、発言前に付箋へ記入してもらう等の方法を取った。											
○当日の流れ												
14：00		開会		冒頭に関係者が挨拶を行います。								
		今日の流れ・ルールの説明		全体の流れ、今日のルールの確認をします。								
14：10		自己紹介・アイスブレイク		グループの中でお互いに自己紹介をします。								
14：20		議論・発表・休憩		各グループの司会がいろいろな質問をするので、言える範囲で意見を言ってください。 各グループの司会が、グループごとに休憩の時間を連絡します。 テーマは2つあります。テーマごとにグループで議論して、その後、各グループから他のグループに議論した内容を発表します。								
15：50		全体振り返り 連絡事項・閉会		各グループから一言ずつ振り返りの言葉を全体に発表してもらいます。								
16：00		解散		最後に、ご協力のお礼の図書カードをお配りします。 今回の内容をまとめた資料を後日、お送りします。								
○当日の会場配置												
												

2. 主な意見(1)

- 将来幸せな生活を送るために現在必要な要素として、「お金」「やりたいことができる環境」「学力」「人脈」「情報」「周りの人」などが挙げられた。
- あなたが思い描く将来の幸せな生活を送るために、今、どのようなことが必要だと思いますか。

Aグループ(小学生世代)	Bグループ(中学生世代)	Cグループ(高校生世代)	Dグループ(若者世代)
・日本とアメリカの交流 ・履歴書(解いた問題や宿題プリントを整理したファイル)を作る。勉強する。書道の授業。字が下手だから上手になりたい。 ・家族を大切にする。家族の手伝いをする。今は、洗濯を取り込む、食器を片づける、靴を並べるといった手伝いをしている。	・お金をたくさん貯めるのと、友達とたくさん遊ぶのと、家庭をつくるのと、何事にも挑戦することと、好きなことをたくさんすることで将来幸せになる生活を送れると思う。 ・自分の好きなことができる心の余裕と、経済的安心が欲しい。 ・遊ぶことと、学力と、お金が大事だと思う。	・いろいろな人と関わること。交友関係を広げたら、いろんな考え方とか価値観とかが生まれると思う。 ・勉強。勉強していなかったら気づかないうちに損しちゃいそう。税金とか。 ・バス代の無料化。通学で、田舎過ぎてバスがなくて乗り換えに時間がかかる。 ・健康。これが一番大事。健康じゃないと将来生きていけない。自分の周りの人たちにも健康であってほしい。 ・お金を稼ぐこと、貯めること。自分が結婚してこどもができたりしたときに、こどもにいい体験をさせたい。	・たくさんの趣味があると、より私生活も充実するかなと思った。 ・遊ぶなら近くに公園があった方がいい。あとは運動ができる場所、大人が運動して健康になれるみたいな施設があるといい。球技ができるなど、優しく、みんななんでもできるような所がいい。 ・こどもを育てるために経済的な支援や、保育所やサービスを使いながら働きながらこどもを育てられる環境。 ・選択肢がある生活を送るために、まずは心の余裕。別の道を選んでもいいんだという心の余裕が必要。

2. 主な意見(2)

- サポートとして、移動手段(送迎、バス)、体験、寄り添い、奨学金、制度の情報発信などが挙げられた。
- あなたが思い描く将来の幸せな生活を実現するために、自分以外の誰かからどんなサポートがあったら嬉しいですか。

Aグループ(小学生世代)	Bグループ(中学生世代)	Cグループ(高校生世代)	Dグループ(若者世代)
・思いつかない。 ・思いつかない。自分がんばればできると思う。勇気があれば。	・バスケットクラブだから、県大会のときの送迎とか、軽食とかをたくさんやってほしい。 ・10分前登校してって言われるけど、ちょっとそれなくしてほしいかな。15分から遅刻なのに、10分以内に登校しないと怒られる。 ・近くのお店でお姉ちゃんが働いているけど最低賃金で働いているって言ってたから、さすがにちょっと給料上げてほしいなって思う。	・先生にもっと親身になってほしい。話を聞いてほしいと思う。 ・奨学金。大学を考えると、特に沖縄とかはひとり親世帯が多かったりするので、それで将来の幅が狭まるのはもったいない。大学や私立の高校に通いたい子たちのための奨学金は必要だと思う。	・企業(職場)の仕事の具体的な情報をもっと発信してほしい、入社1～5年目の人を対象に異業種交換会をした方がよいと思う。 ・地域でこどもと遊ぶ環境をつくるための政策が必要。意識の改革をした方がいいと思っている。 ・国自体もいろんな制度があったりとかは重々承知だけど、時代に政策が追いついていない気がする。ちょっとした日常の、本当にちょっとしたことで、ちょっと我慢しようかなって思う現実がある。

2. 主な意見(2)-参考

- 沖縄県が実施した「こどもの意見表明」の結果と比較すると、同様の意見が出ている。

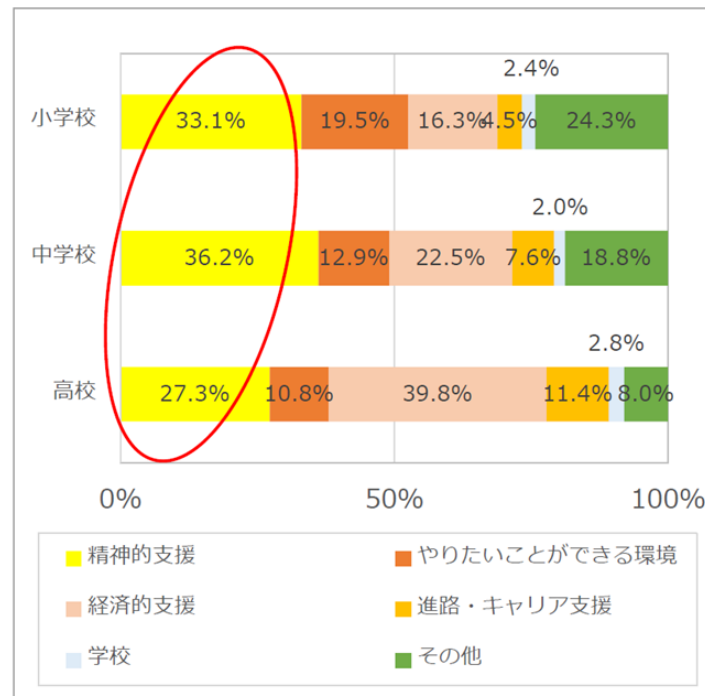
こども・若者意見交換会では、比較的「やりたいことができる環境」を求める意見が多かった。

例)勉強面、楽しく利用できる場所(公園)、日米の交流、たくさんの人と関わりたい

問 夢にむかってがんばるあなたに、どんな応援(支援)があったらうれしいですか

【ポイント】

- ✓ 小・中・高ともに、精神的支援を求める声が多い
- ✓ 年代が上がるとともに、経済的支援を求める声が多くなっている



精神的支援

- ★(共)自分のことを理解して応援してほしい
- (共)否定せず、認めてほしい。見守ってほしい
- (共)こどもの意見を聞いてほしい
- (共)自分の事を褒めて欲しい
- (小)失敗したり諦めようとしたときに助けてくれる人
- (小)間違ったら違うよって教えてくれる人
- (中)優しく相談事を聞いてくれる人
- (高)自分を理解して、厳しく指導してくれる人
- ★(大)一緒にやってくれる仲間

やりたいことができる環境

- (共)勉強に集中できる場所
- ★勉強を教えてくれる人
- (小)スポーツやダンスなどの練習場所
- ★(小・中)こどもが楽しく利用できる場所や施設
- (小・中)リラックスできる、一人になれる場所
- (中・高)意見を発表する機会、若者会議の開催
- ★(高)沖縄だからこその外国人との交流
- ★(高)たくさんの人との関わり、成長できる場
- (大)資格取得のための無料講座
- ★(大)欲しい情報がもらえる

経済的支援

- ★(共)進学のための奨学金、進学費用の援助
- (共)授業料の無償化、資格試験、受験費用の補助
- (小)教科書やノート購入費、給食費の支援
- (中)塾の費用、長期休暇時の電気代、昼食代の補助
- ★(小・中)本島・県外の大会へ行くときの費用
- (高)留学のための奨学金、就職のための給付金
- ★(大)生活資金・交通費の支援
- ★(大)大学生の学割の増加や最低賃金のUP

★ こども・若者意見交換会との共通意見(世代問わず)

2. 主な意見(2)-参考

- 沖縄県が実施した「こどもの意見表明」の結果と比較すると、同様の意見が出ている。

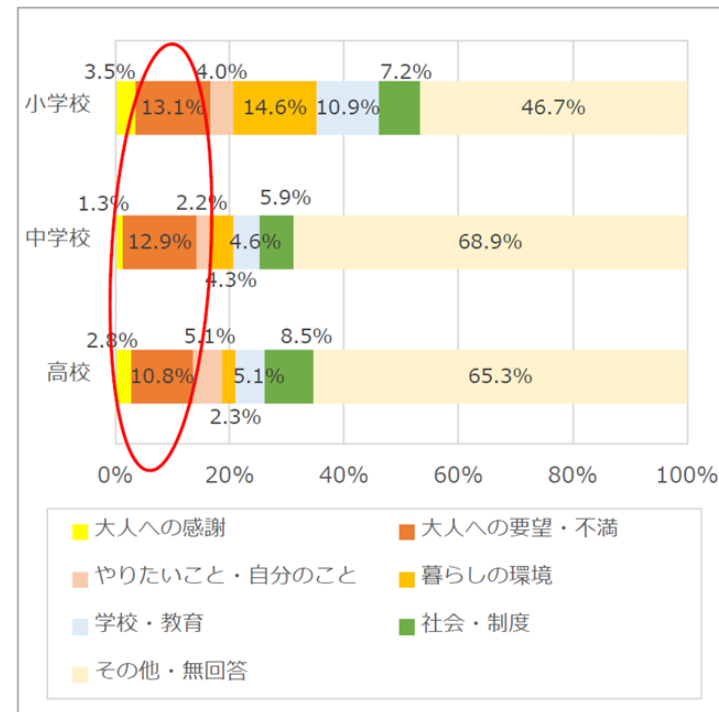
こども・若者意見交換会では、比較的「学校・教育」、「社会・制度」について、思っていることを伝えたいという意見が多かった。

例)先生にもっと親身になってほしい、企業情報を知りたい、経済的安心がほしい

問 その他、おとなに伝えたいことや自分が思っていることがあれば、自由に書いてください

【ポイント】

- ✓ 小・中・高ともに、「大人への要望・不満」が多い
- ✓ 小学校は、「暮らしの環境」・「学校・教育」が多い



大人への要望・不満

- (共)こどもの話を最後まで聞いて、意見を尊重してほしい、こどものことを理解して、信じてほしい
- (共)大人の意見や価値観を押し付けないでほしい
- (小)こどもの権利を知って、大人と子供の立場を同じにしてほしい
- (中)ダメと言うだけでなく理由を説明してほしい
- (中)イラついててもこどもにあたらなくてほしい
- (高)もっと若者に厳しくしてほしい
- (大)若者の夢を応援してほしい、否定しないでほしい
- (大)若者がやっている活動に協力してほしい

暮らしの環境

- (小・中)ゴミを道や海に捨てないで
- (小)離島にも大学が欲しい
- ★(中)地域のこどもが無料で乗れるバス

学校・教育

- (小・中・高)理由が説明できない校則は無くしてほしい
- ★(小)いじめに悩む人や不登校の人でも学校に行きやすくなる環境を作してほしい
- ★(中)もっと生徒の意見に耳を傾けてほしい
- (高)進路や悩みを気軽に相談できるようにして
- ★(大)小・中学校の時から、県外進学、就職、留学などの話を聞く機会や情報がほしい

社会・制度

- (小)こどもが自由に使える公共施設(児童館等)を増やして欲しい
- ★(中)こどもが安心できる社会を作してほしい
- ★(中)物価を下げ税金を減らし生活に余裕ある社会
- (高)教育現場にもっとお金をかけて欲しい
- ★(高)外的要因で自分の夢を諦めなくてもいい社会

★ こども・若者意見交換会との共通意見(世代問わず)

2. 主な意見(3)

- 若者世代にこども時代を振り返ってもらうと、チャレンジしやすい環境や好きなこと、将来を見据えたスキルなどが挙げられた。
- (若者世代のみ)あなたが小学生・中学生・高校生のときに、こういうことをしておけばよかった、こういうサポートがあればよかったと思うことはありますか。

Aグループ (小学生世代)	Bグループ (中学生世代)	Cグループ (高校生世代)	Dグループ(若者世代)
-	-	-	・やってみたいことをやれる環境。 ・徒歩圏内で大きな遊具のある公園があれば楽しかったらと思う。 ・今自分がやっている勉強が何のためにやっているか、学んできたことが将来こういうのに役に立つんだよ、という情報を吸収できていたら良かったと思う。キャリア教育みたいに、今勉強しているのは大人になってこういう職業に役立つんだよと分かれば、学習意欲をもって勉強する人も増えるのではないかな。 ・今の自分が好きなこととちゃんと向き合って、鋭く、尖ってもいいので、好きなことを思いっきりやってほしい。 ・経験や体験ができるような、経済的な問題や家庭の問題等で修学旅行などを諦めないような環境にする支援が必要。修学旅行などを諦めることは、その子にとっても友達である自分にとっても辛い。家庭の経済環境はこどもに関係ないから、その子の人生の思い出が消されるような、なくなるようなことは、幸せとは違うのではないかな。

2. 主な意見(4)

- 沖縄の特性として、「人のよさ」をあげる参加者が多かった。また、自分が嫌なことをされていない(マイナスの状態ではない)ために幸せという発想も見られた。「戦争がない」と回答した小学生もあり、何と比較しての幸福度なのか、個人差が出た。
- 沖縄県の幸福度が全国と比べて高いのですが、ということが理由だと思いますか。
(次ページの結果を提示)

Aグループ(小学生世代)	Bグループ(中学生世代)	Cグループ(高校生世代)	Dグループ(若者世代)
・運動会のリレーで、「がんばれー！」と応援してくれる。 ・住民が優しい、沖縄は名物が多い(ちんすこう、沖縄そば、サーターアンダギー、サトウキビ)、学校で友達同士で計算問題のやり方を教えあったりするから。 ・やってほしいことを誰かがやってくれているから。	・あまり犯罪が身近じゃないから。電車とかないから痴漢とかの心配もない。 ・ちょっと経ったら顔見知りになるくらいの人しかいない。 ・沖縄は車社会だから、部活とか送り迎えしてくれる親が多いから、楽しく過ごせてると思う。 ・まちとか歩いたり家帰るときとかに、近所の人とか、交通パトロールの人とかが挨拶したり、話しかけてくれたりして、親しみやすさがあるから幸せなんじゃないかなって思う。	・親が県外出身でそれと比べると、沖縄はあったかい人が多いと聞く。 ・沖縄は狭いから、一人ひとりとのつながりが強いと感じる。例えば近所の付き合いで、正月にお年玉をもらったりする。 ・小学校までは大阪、中学から石垣島。沖縄は人柄がよい。学校でも、沖縄では廊下で先輩とすれ違う時挨拶するし名前呼びだが、大阪では無視が当たり前で名字呼び。 ・中学受験があまりないからだと思う。	・寒くないから。 ・寒くないから、東京と比較して人のつながりの種類が違う。つながりが強い ・団結力があるから。今年の甲子園はすごかった。一丸となる、みんなで一つになろうとする意識は高い。沖縄を応援しようとする動きや気持ちがある。 ・地元愛が強いから。

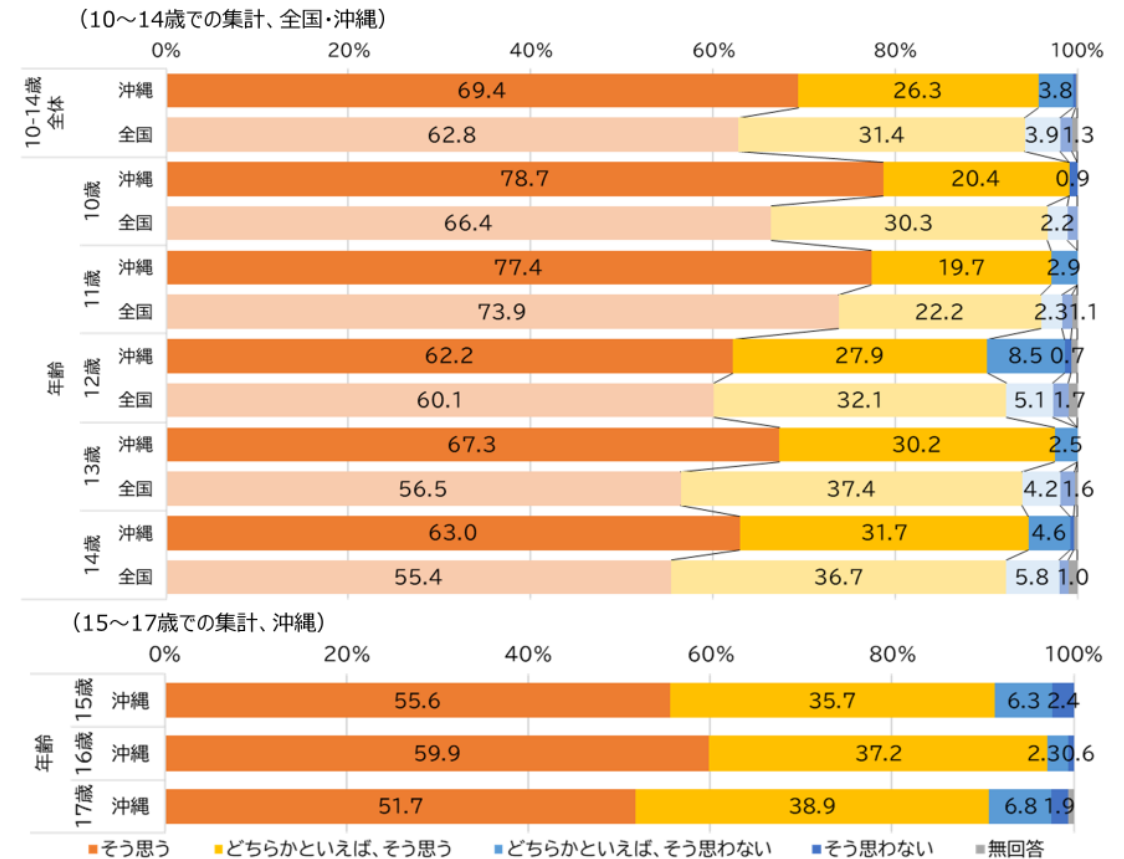
2. 主な意見(4)-参考

- 当事業の中で実施したアンケート調査の以下の結果を提示。

質問①

あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(1つだけ)

質問①の結果（全国との比較）



※全国の結果は、こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」の結果（10歳～14歳対象調査、問24）よりグラフ化。この調査では、15歳～17歳で集計した結果は公表されていないので、グラフを作成していません。

※アンケートの結果は、性別・年齢・地域別に調整して、沖縄県のこども（10～17歳）の人口構成に合わせています。そのため、回答した人数は記載していません。

2. 主な意見(5)

- アンケートが身近であり、手軽という意見が多かった。ただし、学校経由など安心したルートからのものであることが求められた。一方、真面目な内容などは対面ヒアリングが良いという意見もあった。
- あなたやあなたのお友達が、もっとこういう場に興味をもったり、参加してくれるようになるためにどうしたらよいか考えているのですが、どんな方法がよいと思いますか？

Aグループ(小学生世代)	Bグループ(中学生世代)	Cグループ(高校生世代)	Dグループ(若者世代)
(楽しいテーマのとき) ・主張したいときは対面がよい。 ・圧倒的にオンラインがよい。顔は見せない方がよい。対面だと恥ずかしい。 (悩みなど重たいテーマのとき) ・アンケート、意見箱がよい。緊張すると言葉に詰まる、オンラインだとすぐ答えられないといけない。その後大人から連絡が来るならインスタDM。 ・まずは意見箱がよい。悩みを話すのは恥ずかしい。その後連絡が来た後は、1対1で直接話したい。直接話すとき保護者はいない方がよい。	・アンケートの方が国とかにしか見られないし、自分一人のペースでできたりするから本音が言えるのかなって思うから、アンケートがいいと思う。 ・学校のアンケートだったら、一応、信用できるから答えてもいいかなと思う。 ・同じ年代の人たちで、こうやって一緒にグループに分かれて、知らない人同士で話し合うほうが、知らない人だし同じ世代だから気持ちもちよっと近いから話し合えるかなって思う。 ・字を書いたり、スマホで答えたりすると履歴が残っちゃう。だから、直接話した方が安心は一応あるかなって思う。形に残ると、もしかしたら広まるかもしれない。 ・知らない人じゃなくて、病院の先生とか、カウンセラーの人とかだったらいい対応をしてくれそうだから話せる。	・アンケートが一番やりやすそう。オンラインのほうが気軽にやれる。 ・ぱっと答えられることならアンケートだが、適当に答えがち。真剣な話を聞きたいときはこうやって対面で話す場所のほうがいいと思う。 ・ある程度顔見知りのほうがいろいろ言いやすい。 ・自分は逆に、まったく知らない人のほうが言いやすい。 ・めっちゃ聞きたいっていう人がいい。めっちゃ聞きたがりマンがいたらいいなと思う。 ・離島の意見を聴くためには、那覇まで来る方がいい。本島に来れる機会を作ってもらえるのなら、みんなもいっぱい参加したいって思ってくれる気がする。	・対面と1対1はどちらが意見を言いやすいか→対面(4人とも) ・圧倒的対面。自分含めて偶数の人数が好き。多すぎるとあまり話せない。 ・学校に行く。深い意見がほしいなら初めて顔を合わせるより、こども達の意見ははなし慣れている方が人が活発に話ができる。違うんじゃないという意見も、私はそう思うという意見も言いやすい。 ・インスタのDMよりは学校での募集がよい。情報源が学校の方が安心する。DMだと個人を特定されて詐欺やスパムと勘違いする。 ・意見交換の理想の人数は3~5人。沖縄は知り合いとつながる可能性が高く、知らない人同士の方が意見しやすい。

2. 主な意見(6)

- 小学生では「まだ分からない」、中高生では「沖縄では限られているから外の世界を知りたい」、若者世代は「沖縄にずっといたい」といった意識が見られた。一方で、沖縄は暮らしやすい(人がいい、気候がいいなど)から戻ってきたい、沖縄に還元したいという沖縄愛も強くみられた。
- あなたは将来、進学や就職のために沖縄県から他の都道府県や海外に出ていこうと思いますか。沖縄県を出た後に、その先の将来で沖縄県に戻ってこようと思いますか。(次ページの結果を提示)

1:進学や就職で他の都道府県・海外に出るつもりで、そのあと沖縄県内(本島以外も含む)に戻る予定はない

2:進学や就職で他の都道府県・海外に出るが、いずれ沖縄県内(本島以外も含む)に戻る予定である

3:他の都道府県・海外に出ずに、ずっと沖縄県(本島以外も含む)にいたい

4:まだわからない

Aグループ(小学生世代)	Bグループ(中学生世代)	Cグループ(高校生世代)	Dグループ(若者世代)
・4.まだわからない ・2.他県に出るがいずれ沖縄に戻る。 ・進学や就職するときに県外に引っ越すかもしれない。その後はわからない。英語を習っていることも関係すると思う。 ・他県に行った経験を沖縄で活かしたい。雪など沖縄にはないものを見たい・体験したい、それを家族に伝えたい、沖縄をもっと良くしたい。	・2.大学とかで1回出ていきそうだから。 ・強いて言えば1.1回出ると帰るのが面倒くさいから、沖縄と九州とかにでっかい海中道路とかがない限りは帰ってこない。あと、雪見てみたい。 ・2.過ごしやすい。小さいから動きやすい。沖縄以外に行ったら、また一から友達とか知り合いをつくらないといけないから、沖縄に戻ってきて友達とかと住んだほうがいかなって思う。	・3.沖縄大好きで、地元も好きだし、大学も沖縄で進み、内地行ったらめっちゃお金かかるし。 ・2.姉が東京の大学に進学して、親戚も関東出身で周辺にいたので、大学は関東に行きたい。東京の強豪校に進学して、大学でも部活したい。 ・2.沖縄好きだけど、一人暮らししたいってのもあって、県外、内地の大学に行きたい。沖縄に戻りたい理由は、普通に沖縄が好きだし、この沖縄でつくった交友関係とかも大事にしていきたいから。 ・2.あまり決まっていらないが、ぼやっと沖縄は出たい。具体的にはあまりないが、いろんな選択肢は内地のほうががあると思うし、会社とか企業とかも内地のほうががあるから、自分のしたいことが見つけやすいと思った。	4人とも「3.ずっと沖縄にいたい」 ・職場の人との関係があるから、職場の人との関係性が本土と比べると強く、転職したとしても県内で働いた方がやりやすい ・東京は、インターンで2週間生活したが、満員電車や通勤時間が長いなど辛い。東京で働くイメージがなかった ・沖縄が好き。沖縄の食べ物や環境が好き。沖縄を出る理由がない。不便がない。 ・家族と離れるのがさみしい。 ・沖縄は人のつながりが強いと感じる。つながりが強いと感じるのは、正月や結婚式など人が集まるイベント。

2. 主な意見(6)-参考

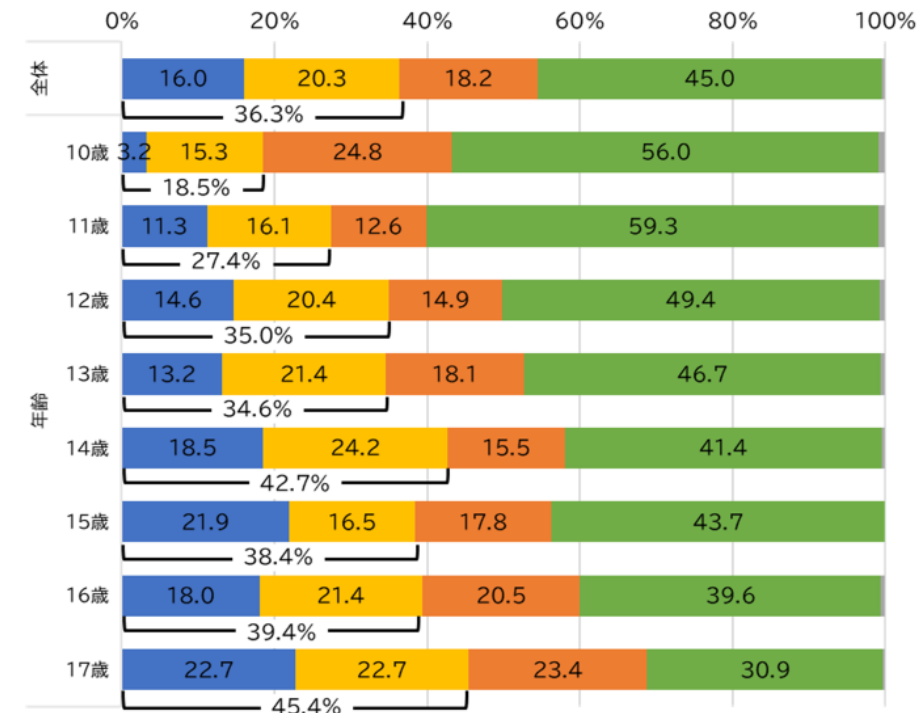
- 当事業の中で実施したアンケート調査の以下の結果を提示。

質問②

あなたは将来、進学や就職のために
沖縄県から他の都道府県や海外に
出ていこうと思いますか。
沖縄県を出た後に、その先の将来で
沖縄県に戻ってこようと思いますか。
(1つだけ)

質問②の結果（沖縄のこどもでの比較）

(10～17歳での集計、沖縄)



- 進学や就職で他の都道府県・海外に出るつもりで、そのあと沖縄県内(本島以外も含む)に戻る予定はない
- 進学や就職で他の都道府県・海外に出るが、いずれ沖縄県内(本島以外も含む)に戻る予定である
- 他の都道府県・海外に出ずに、ずっと沖縄県(本島以外も含む)にいるつもり
- まだわからない
- 無回答

※アンケートの結果は、性別・年齢・地域別に調整して、沖縄県のこども（10～17歳）の人口構成に合わせています。そのため、回答した人数は記載していません。

3. 研究テーマに関連するこども・若者の意見の抜粋

- 研究テーマに関しては、こども・若者から以下のような意見が出た。今回は限られた対象者からの意見であるが、これらの意見も参考に、今後主観的幸福度を切り口にさらなる検討が求められる。

研究テーマ	こども・若者の意見の抜粋	考えられるアプローチ
こどもが大人になるまでの発達過程の長期的なWBの変化や要因、キャリア形成のあり方の研究 【趣旨】現状、沖縄のこどもの主観的幸福度は比較的高いが、大人への発達過程全般を見通した場合に課題がある可能性がある。発達過程全般にわたる検証が求められる。	・ 入社1～5年目の若手を中心に異業種交換会をした方がよいと思う。自分の会社だけでなく、他の業種や職種の情報を知れるような、若手社員や職員同士の意見交換会があれば、転職する・しないに関わらず、いろいろな情報を得られて助かる。【若者世代】 ・ ぼやっと沖縄は出たい。いろんな選択肢は内地のほうがあると思うし、沖縄が駄目とかじゃないけど、人もいっぱいいるしってなったときに会社とか企業とかも内地のほうががあるから、自分のしたいことが見つけやすいと思った。【高校生世代】	「将来なりたい自分」の選択肢を知るための機会・情報提供の場の確保(例:居場所における身近な存在、学校における各職業の情報提供、職場見学等)といった、個人の背景によらないキャリア形成の検証が考えられる。
こどもの声の把握、対応の方策に関する研究 【趣旨】こどもの意見(view)を聴く取組は全国では始まっているが、模索段階にある。どのように声を把握し、対応を進めることが有効かの解明が期待される。	・ アンケート、意見箱がよい。緊張すると言葉に詰まる、オンラインだとすぐ答えないといけない。【小学生世代】 ・ アンケートの方が国とかにしか見られないし、自分一人のペースでできたりするから本音が言えるのかなって思うから、アンケートがいいと思う。【中学生世代】 ・ ぱっと答えられることならアンケートだが、適当に答えがち。真剣な話を聞きたいときはこうやって対面で話す場所のほうがいいと思う。【高校生世代】 ・ 沖縄は知り合いとつながる可能性が高く、知らない人同士の方が意見しやすい。【若者世代】	ヒアリング対象やテーマの違いによる、ヒアリング方法の深掘りが考えられる。
サポートの仕方の改善方策に関する研究 【趣旨】支援が必要な家庭にどう支援を届けるか(不要と言われてしまう問題等)、体験格差、精神的な面での対応等どのようなサポートが有効かの解明が期待される。	・ (自分以外の誰かからのサポートについて)思いつかない。【小学生世代】 ・ 奨学金。大学を考えると、特に沖縄とかはひとり親世帯が多かったりするので、それで将来の幅が狭まるのはもったいない。大学や私立の高校に通いたい子たちのための奨学金は必要だと思う。【高校生世代】 ・ 国自体もいろんな制度があったりとかは重々承知だけど、時代に政策が追いついていない気がする。ちょっとした日常の、本当にちょっとしたことでも、ちょっと我慢しようかなって思う現実がある。経済的な負担を減らした方がいいと感じる。【若者世代】	こどもの考えるウェルビーイングと、大人が考えるこどものウェルビーイングのギャップの検証が考えられる。

【参考】フィードバック資料(案)

- こども・若者意見交換会の意見概要について、以下のようなフィードバック資料にまとめ、参加者に配布を予定している。



未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI エム・アール・アイリサーチアソシエイツ